

広報おんな

平成9年8月発行(No.200) 恩納村役場 総務課 TEL(098)966-8006



魚のつかみ捕りに大歓声 第14回うんなまつり



青と緑の豊かな活力ある村

- ◆広報おんな200号記念
- ◆むらの話題 青空の下一足早い運動会 安富祖小中学校
稻刈り作業を体験 村子ども会リーダー研修会
- ◆第9回全国農業青年交換大会現地交流会歓迎のタベ
- ◆村各字対抗ボウリング大会 谷茶区三連覇
- ◆村青年会が交通事故防止集会

村青年会が交通事故防止集会

村青年団協議会(当山光会長)は村内の死亡事故防止と青年会員の交通安全の意識の高揚を目的として七月十八日、村コミュニティーセンターで交通事故防止青年集会を開催しました。

集会は石川署員や村内の青年会員のほか石川署管内の石川市、金武町、宜野座村の各青年会長五十人余りが参加し行われ、飲酒運転の追放、スピード運転の追放などの意見を交わし、交通事故防止を宣言しました。

▲恩納ライオンズが6月1日に設置(谷茶区)した交通三悪追放看板

恩納村青年エイサーまつり

- 日時：平成9年8月30日(土) PM5:00
場所：恩納村漁民広場
主催：恩納村青年団協議会
後援：恩納村、恩納村教育委員会
恩納村区長会 恩納村商工会
-



村青年会が交通事故防止集会



▲大盛況魚のつかみ捕り



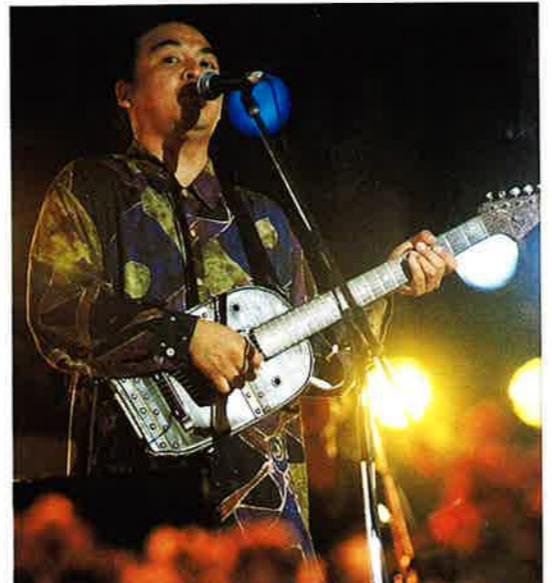
▲色鮮やかな舞（宇加地子ども会）



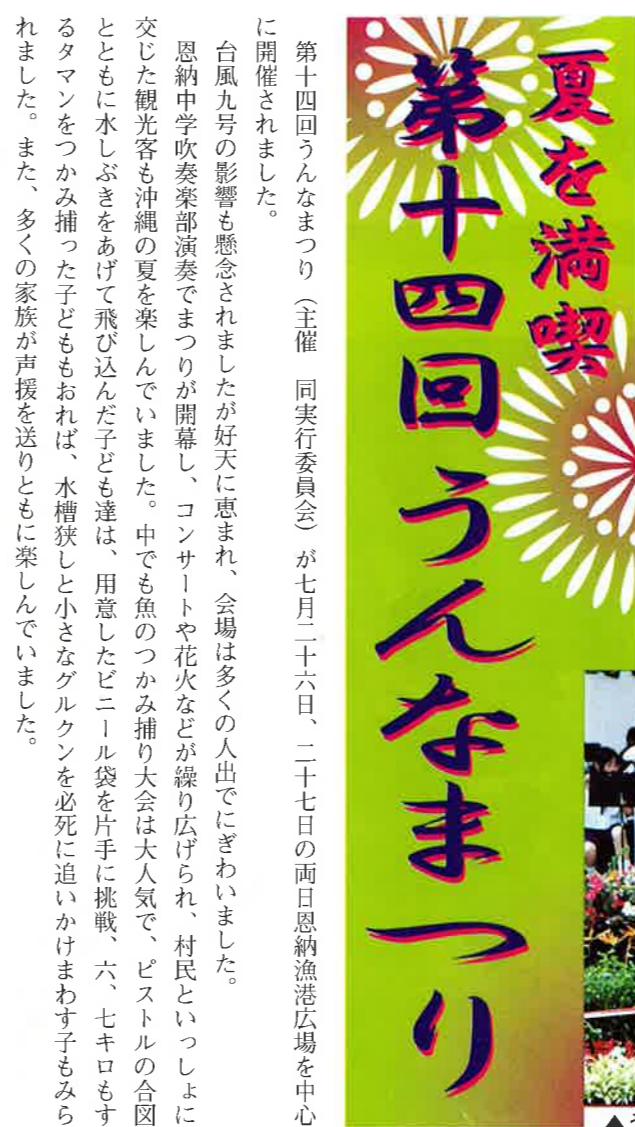
▲会場には多くの観客が訪れた



▲スティックを握る手にも力が（ゲートボール会場より）



▲まつりフィナーレを飾った日出克



第十四回うんなまつり（主催 同実行委員会）が七月二十六日、二十七日の両日恩納漁港広場を中心
に開催されました。

台風九号の影響も懸念されましたが好天に恵まれ、会場は多くの人出でにぎわいました。
恩納中学吹奏楽部演奏でまつりが開幕し、コンサートや花火などが繰り広げられ、村民といっしょに
交じた観光客も沖縄の夏を楽しんでいました。中でも魚のつかみ捕り大会は大人気で、ピストルの合図
とともに水しぶきをあげて飛び込んだ子ども達は、用意したビニール袋を片手に挑戦、六、七キロもある
タマンをつかみ捕つた子どもおれば、水槽狭しと小さなグエルクンを必死に追いかけまわす子もみら
れました。また、多くの家族が声援を送りともに楽しんでいました。



▲うんまつり式典鏡割り（向かって左から當山村婦人会長、黒瀬加茂川
町助役、比嘉村長、比嘉村議長）



▲リズミカルなダンスで観客を魅了した万座ビーチタレントショー



▲うんな鍋で調理された牛汁に舌鼓をうちました。



▲今年も参加岡山県加茂川町
うれごろ小町のみなさん



▲平成4年12月発行150号



▲平成2年11月発行125号



▲平成7年3月発行175号



▲広報おんな109号～168号を担当した
山内和美（住民課）

私は、「広報」という言葉の意味すら把握できぬまま広報ウーマンになつた。カメラの扱い方を学び、レイアウトの仕方を学び、初めて出来上がつた広報一〇九号である。じ

つくり読んでみたがつまらな

い。「お知らせ型」の広報に過ぎなかつた。

いろいろ試行錯誤しながら、

作つたはずの広報なのに、こ

れでは、誰も読んでくれない、

そう思うと悔しさと悲

しきだけが私の中に残

つた。

そして、より読まれ

る方向であるために、

地域に暮らす人々にス

ポットをあて、「一生に

一度は広報誌」になん

て思いながら村民登場

の機会を多くした。

ある広報誌の出来事・・・

あつてはいけないミスをした。

文字の誤りであつた。そのと

き、何人かの住民から叱り

の言葉を受けた。

住民が関心をもつてくれて

れずにはいる。

つまらなくてもいい。ただ

役に立つてもらいたい。そ

うされでショック半分、うれ

さ半分だった気持ちを今も忘

れずにいる。

つまらなくていい。ただ

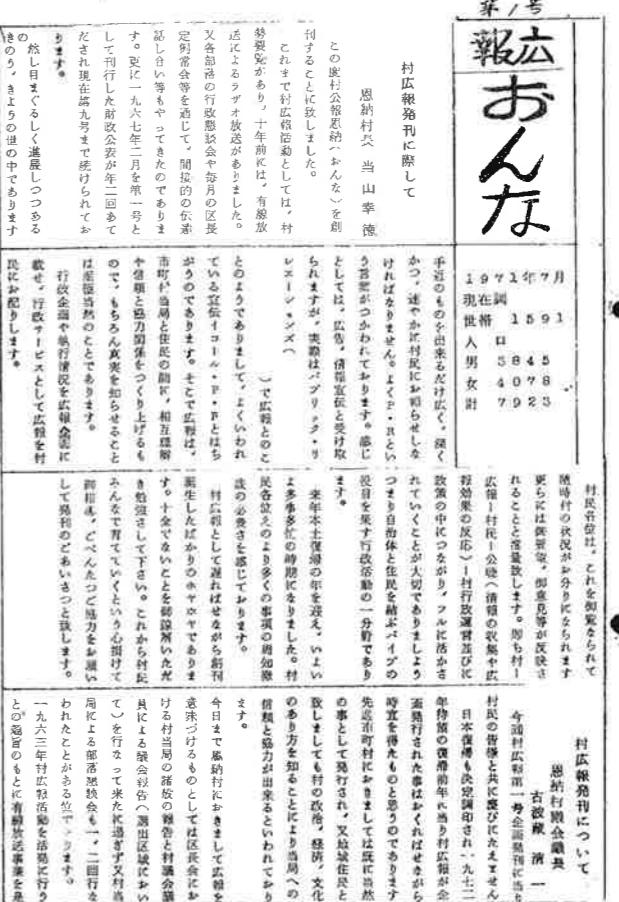
役に立つてもらいたい。そ

うされでショック半分、うれ

さ半分だった気持ちを今も忘

広報おんなが創刊され、二百号（二十六年）となりました。広報おんなは、本土復帰一年前の昭和四十六年に創刊号が発行されました。創刊号は、B五版六ページで構成され、第一紙面には「村広報発刊に際して」と当時の村長である當山幸徳氏の広報発行の意義などが記載されています。昭和四十八年九月発行第六号からは、印刷所での製本になり写真の掲載や、ページ増がありました。その後、カラー紙が昭和五十九年四月発行第百六十八号から登場しました。

二百号を記念して、これまでの広報誌の表紙、広報を担当した方のコメントなどを編集してみました。



▲昭和46年7月に発行された創刊号



▲昭和60年8月発行100号



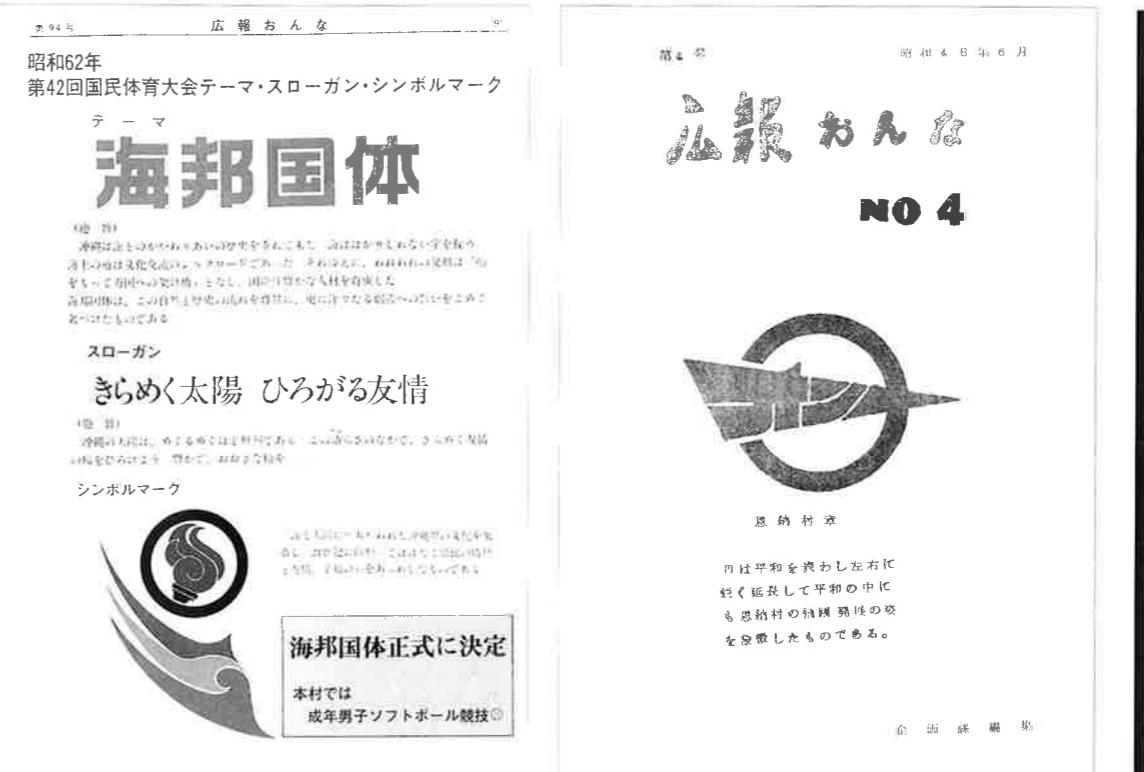
▲昭和51年1月発行50号



▲村民一体となった「都市型戦闘訓練施設」撤去運動



▲平成8年11月、世界で活躍する村出身者を迎えて歓迎の夕べが開かれた



▲昭和62年10月本村で成年男子ソフトボール競技が開催された

”広報おんな“で見る村の出来事

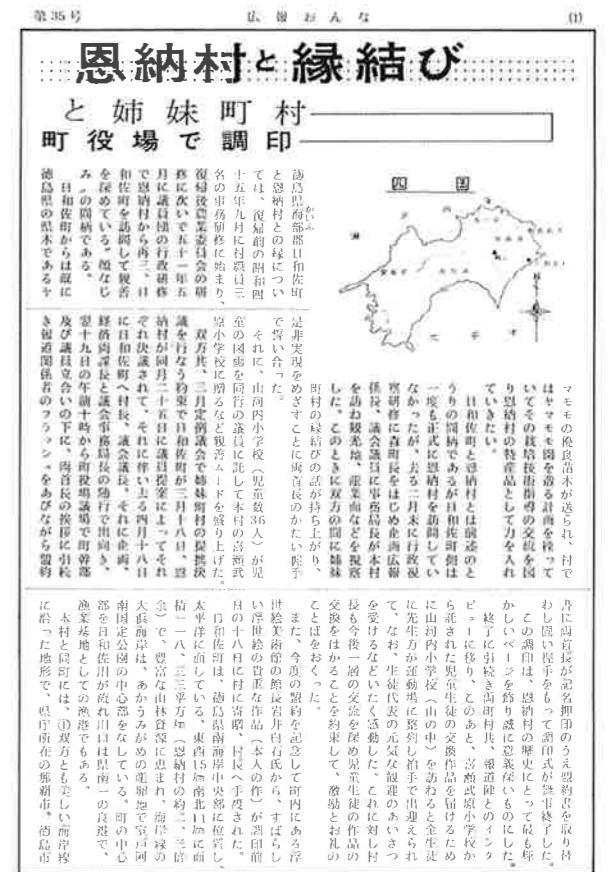
▲昭和48年5月15日村章が制定された。



▲平成3年3月に行われた第1回琉歌大賞



▲昭和52年4月19日徳島県日和佐町との間で姉妹町村が締結された



むらの話題

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。

身近な話題や出来事、珍しい写真など、お気軽に寄せください。

966-8006 (内線200)



▲石川署玄関前でのキャンペーン



▲慣れぬ手つきで頑張りました



▲白組頑張ろう! (応援合戦より)

交通安全の願いをタンザガクに託して

七月四日、「七夕 無事故作戦」と称して石川地区交通安全チビッコクラブによる交通安全キャンペーンが石川署構内、同クラブの保育園児をはじめ石川署員、各市町村関係者が出席し行われ本村からも村立山田保育所、恩納保育所、安富祖保育所の園児、保母が参加しました。キャンペーンは石川市の美原保育所園児樂隊による元気な演奏で幕を開け、続いて、石川署

会(主催村子ども会育成連絡協議会、村教育委員会)が七月五日、六日両日行われ安富祖区公民館、赤間運動場で稻刈り、キャンプを体験しました。

同研修会は、宿泊をとおして協調性を養い会活動に必要な知識を身につけることを目的としています。村内の子ども会活動の充実を図ることをめざしています。園児たちが、園児たち約百五十名の参加があり三月に植え付けられ、たわむほど実れました。

新城交通課長が「園児のみなさんは交通ルールを守り遊びましょう。また、みんながタンザクに願うことにより、地域から交通事故はなくなるでしょう」と話しました。園児たちは全員で、交通安全を誓い、七夕・交通安全の歌を大きな声で歌いました。その後石川署員からお菓子のプレゼントがあり園児たちは大喜びでした。

稻刈り作業を体験

村子ども会リーダー宿泊研修会

村子ども会リーダー宿泊研修会(主催村子ども会育成連絡協議会、村教育委員会)が七月二十九日、「げんきいっぱい」(幼稚園)「うんどうかい」(小学)「輝く青空にむかって、Fight & Enjoy!」(中学)をテーマに同校運動場で行われました。

同運動会は、老朽化した体育馆の改築工事が始まるため村内各小中校に先駆けて行われたものでした。



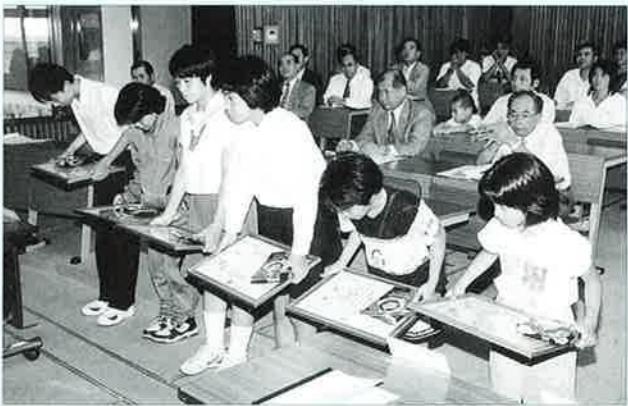
▲大きな声で元気よく「♪ささのはさら～さら…」



▲ジュニアリーダー指示の下テント張り



▲うまく探せるかな～



▲ポスターの部で表彰を受けた児童・生徒のみなさん

「きれいな海 悲しい色に染めない」

恩納中二年 富山 商人

推進協議会平成九年度総会

六月二十五日、石川地区恩納水難事故防止推進協議会定期総会が村コミュニティセンターで賛助会員、事業所代表、児童生徒多数の参加により行われました。

総会は、平成九年度「水難事故防止ポスター及び標語」石川

警察署内審査の入選者表彰があり、村内からはポスターの部に

恩納中二年石川亞鐘さん、恩納

小四年植田モモさんが入賞し、

また、標語の部に恩納中二年當

山商人くん、同中二年仲宗根由

美さんが入賞、表彰されました。

比嘉茂村長が一本格的な海

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

その後、議案審議に入り平成

九年度事業・活動計画、役員改

選など五議案が採決されました。

その後、議案審議に入り平成

九年度事業・活動計画、役員改

選など五議案が採決されました。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

その後、議案審議に入り平成

九年度事業・活動計画、役員改

選など五議案が採決されました。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

その後、議案審議に入り平成

九年度事業・活動計画、役員改

選など五議案が採決されました。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

水難事故を防止していかなければなりません」とあいさつしま

した。

水浴シートンとともに県内外か

ら多くの行楽客がマリンレジャー

を楽しむために本村を訪れます。

しかし、今年に入り既に二

件の事故が発生し、予断を許さ

ない状況にあります。これから

マリンレジャー発展のためにも

第9回全国農業青年交換大会

現地交流会歓迎の夕べ

暮らしを支える農業に従事する青年が一堂に集まり、農業の誇りを再認識するとともに、沖縄の文化、歴史などに触れ、学び、交流を深めることを目的とした第9回全国農業青年交換大会が県内各地で開かれました。同大会のやんばる南地区現地交流会歓迎の夕べ（主催 同実行委員会）が七月十八日、ムーンビーチホテルで行われました。

歓迎の夕べは、各市町村長をはじめ、本土農業青年百三十人、地元農業青年百四十人（恩納村、名護市、宜野座村、金武町）が参加しました。琉球舞踊の谷茶前やエイサーなど各市町村の伝統芸能が披露され泡盛やビールを飲み交わし村の特産品であるもずくなどを味わっていました。その後の懇親会では、本土と地元との意見交換が行われ、沖縄の花き栽培に対する質問や各地域での問題などの情報交換を行い交流を深めていました。



▲大いに盛り上がった会場



▲温かい拍手に迎えられて



▲断崖で訓練を行う消防職員

万座毛で救助訓練

金武地区消防組合恩納分遣所

観光シーズン到来とともに国内でも有名な景勝地である万座毛へは多くの観光客が訪れます。今年に入り既に四月、五月に二件の転落事故が発生しており、そのことから転落事故を想定した訓練が七月十五日に行われました。実践ながらに消防職員は真剣な表情で参加し、二人一组の職員がロープを頼りにサンゴ礁の切り立つた断崖を降り、救出訓練にあたりました。

村各種委員人事

・村教育委員
(7月1日付)



金城 康長 氏

・村固定資産評価審査委員
(7月1日付)



宮平 繁 氏

・村監査員
(7月16日付)



田幸 正毅 氏

最優秀賞「夢に向かって」

喜瀬武原中3年 二俣ひな子さん

第8回恩納村少年主張大会（主催 村青少年健全育成協議会）が7月4日、村コミュニティーセンターで開かれました。

大会は、村内中学より11名が参加し、「夢に向かって」をテーマに主張した喜瀬武原中3年二俣ひな子さんが最優秀賞に輝きました。二俣さんは、学校生活で進路問題に直面し、苦悩する中で他校の先輩の生き方に感銘、これから自分の生き方、希望を話しました。

最優秀賞を受賞した二俣さんは9月5日に予定されている中頭地区大会に村代表として派遣されます。



▲最優秀賞の二俣ひな子さん

万座ハーリーフェスタ

第十四回県知事旗争奪全島万

座ハーリーフェスティバル（主

催 万座ビーチホテル、協賛

恩納村）が六月二十九日、万座

ビーチホテルビーチで開催され

ました。

競技は県知事旗争奪レースに八チーム、チャレンジレースに四十四チームが参加しました。県知事旗争奪レースは地元、TEAM前兼久、奥武島ハーリークラブ、古宇利ハーリー愛好会で争われ、奥武島が六連覇しました。また、チャレンジレースはオリオンビール糸満代理店が優勝しました。



▲57チームが参加

ハッスルプレー続出

南恩納区婦人会 2年連続優勝

第14回恩納村婦人バーボン大会（主催 恩納村婦人会）が7月13日、13チームが参加し仲泊小中校体育館で行われました。

この大会は、スポーツ活動を楽しみ、健康、体力作り運動に励み、会員相互の親睦を図ることを目的に開催される大会です。試合は9人制の各世代で構成され、白熱したゲームが展開されました。決勝は、南恩納区婦人会Aと塩屋区婦人会で行われ、2-0で南恩納区婦人会が2連覇を達成しました。



▲表彰を受ける南恩納区 名城清美さん

日頃の生活体験発表

第21回恩納村婦人の主張大会

地域には多くの課題が山積みしており、婦人の立場から諸問題を取り上げ主張し、社会的視野を広げることを目的とした第21回恩納村婦人の主張大会（主催 恩納村婦人会）が7月17日、村コミュニティセンターで開催されました。

主催者を代表して當山和子村婦人会長が「日頃忙しいみなさまが一堂に会し、主張大会が開催できることを大変嬉しい思います。私たち婦人を取りまく地域では様々な問題があり、問題を主張されることにより婦人の地位向上にもつながります」と話していました。

大会の結果は、最優秀賞に「美しい未来をこども達に手渡すために」と題した南恩納村婦人会長嶺美奈子さんが輝きました。長嶺さんは「地域での環境保全活動の取り組みの中から本当の生活の豊かさとは何か、また、沖縄県の大

きな問題となっている米軍基地の在りかたなどを含めこれから子ども達の未来のために私たちはどうすべきか」を問い合わせ主張しました。



▲最優秀賞の長嶺美奈子さん

